

No Community, No Life.

studio-L



山崎 亮

studio-L 代表

東北芸術工科大学 教授 (コミュニティデザイン学科長)

慶応義塾大学 特別招聘教授

1973年9月9日生まれ



2040年の東京都に都市計画審議会は存在するか？

「だってもう200年も経つんだぜ。」



◆イギリスの展開

公衆衛生法（1848）※5年の時限立法

宿泊住宅法（1851）

（シャフツベリー法：世界初の住居法）

王立衛生委員会（1871）

（後藤新平に影響を与える）

労働者住宅法（1866,1875,1890）

改正公衆衛生法（1875）

住宅・都市計画法（1909）

（ジョン・バーンズ法：最初の都市計画法）

国民保健サービス（1948）

（無料の医療サービスの提供）



◆日本の展開



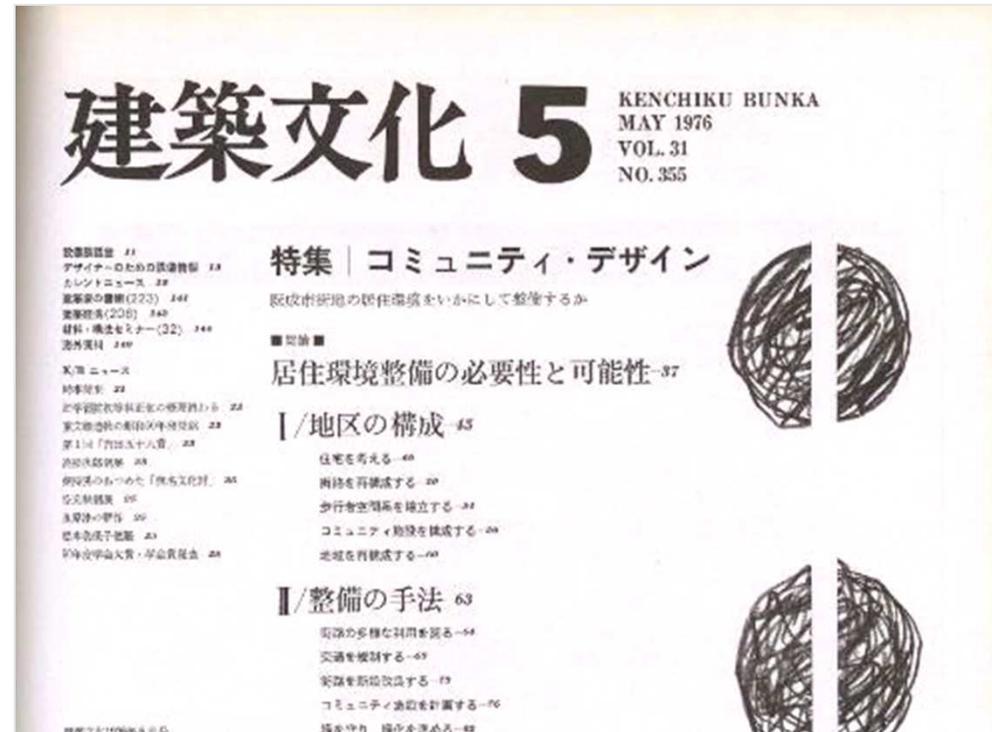
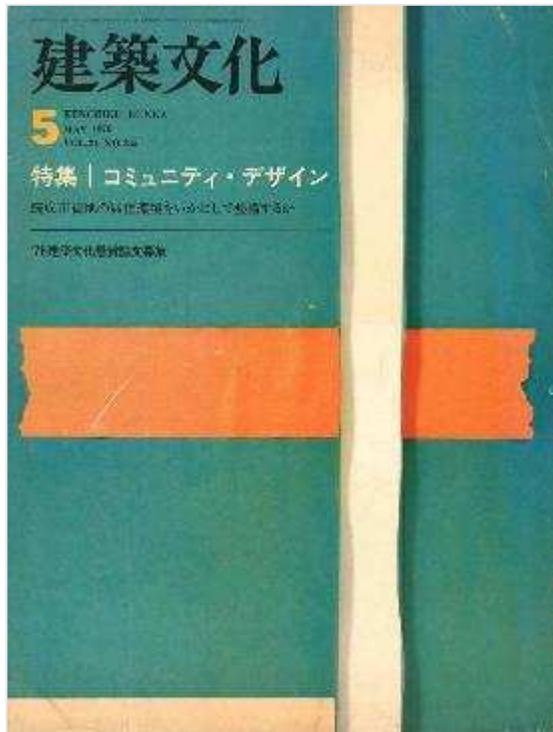
都市計画と保健福祉の再統合 (2040)



◆コミュニティデザインって？

1960年～（第一世代）

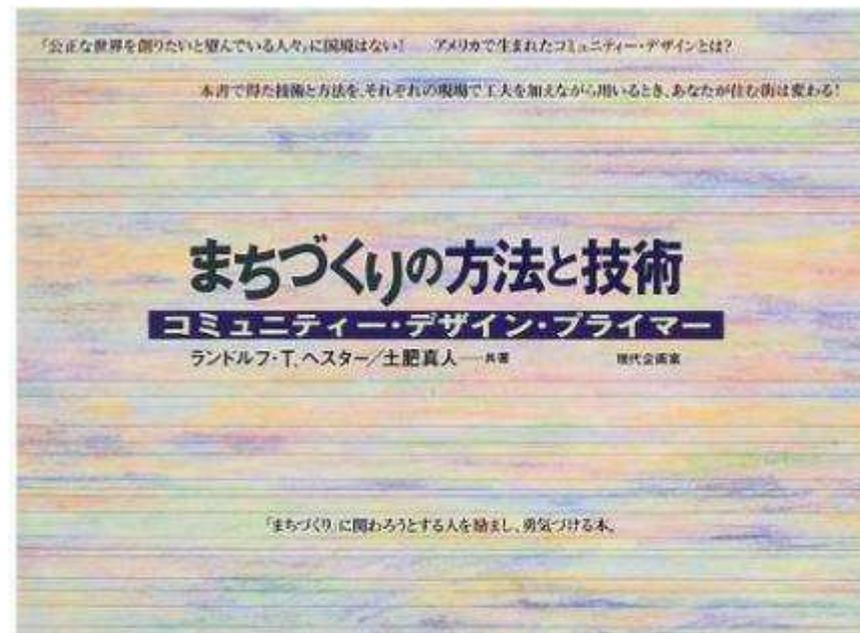
- ・ニュータウンの住宅の配置計画
- ・コミュニティセンターやコミュニティプラザが誕生



◆コミュニティデザインって？

1980年～（第二世代）

- ・ランディー・ヘスターがコミュニティデザインを提唱
- ・公共施設のデザインをコミュニティとともに進めること
- ・住民参加によるデザイン≡まちづくり



◆コミュニティデザインって？

2000年～（第三世代）

- 人のつながりをつくり、課題を乗り越える力をつけること
- ハード整備を前提としないコミュニティデザイン
- 既存の空間を使いこなす活動のデザイン
- つくらないまちづくり？ 使い方のデザイン？
- Community Empowerment by Design

公園
広場

空き地
空き家

百貨店
商店街

美術館
図書館

病院
薬局

コミュニティデザイン



アマチュア
デザイン

住民によるデザイン
日曜大工 (DIY)
セルフビルド



コミュニティ
デザイン

コミュニティによる
デザイン
見えるデザイン
見えないデザイン



プロフェッショナル
デザイン

専門家によるデザイン
建築やグラフィック
プロダクトやウェブ





コミュニティ（地縁／興味）、アソシエーション

家族・自治会・会社・組合

グループ・チーム・サークル・クラブ・トライブ



◆東京都における人口停滞と超高齢社会

・2040年について考えると、東京都は急速な勢いで高齢化を進める一方、若い人の流入は加速度的に少なくなっていく。

→日本を代表する超高齢都市へ。医療介護費の増大。

→これまでの医療、介護、薬事では「もぐらたたき」状態で到底間に合わない。

→地域包括ケアシステムは、まだ具体的なモデルが見えない。

・医療、介護、薬事に「お世話になる前」が重要。

→保健、福祉、健康づくり。コミュニティヘルスケア。

◆人のつながりを生み出す美しい事業の創出

- ・人とのつながりが健康に寄与することが明らかに。

→孤独は喫煙より体に悪い。お見舞いに来てくれる人の数で寿命が変わる。町内会の役員は健康に良い。作り笑いでも寿命は2年延びる。

- ・人とつながり、一緒に活動する機会が都内各所にあることが重要。

→そのための場所を新設する必要はない。いまある場所を創造的に活用できる都民を増やすことが重要。

- ・創造的都民。美しい、楽しいが人を動かすことを理解した人たち。理性だけでなく感性の力を知る人たち。

◆活動人口を増やすこと

- ・中古住宅市場、ホームインスペクション、リノベーション、コンバージョン、公民連携（PPP）、エリアマネジメント、コミュニティヘルスケア、地域包括ケア、在宅医療、訪問看護、ホームホスピス

- ・ハードとソフトの融合。都市計画と保健福祉の再統合。

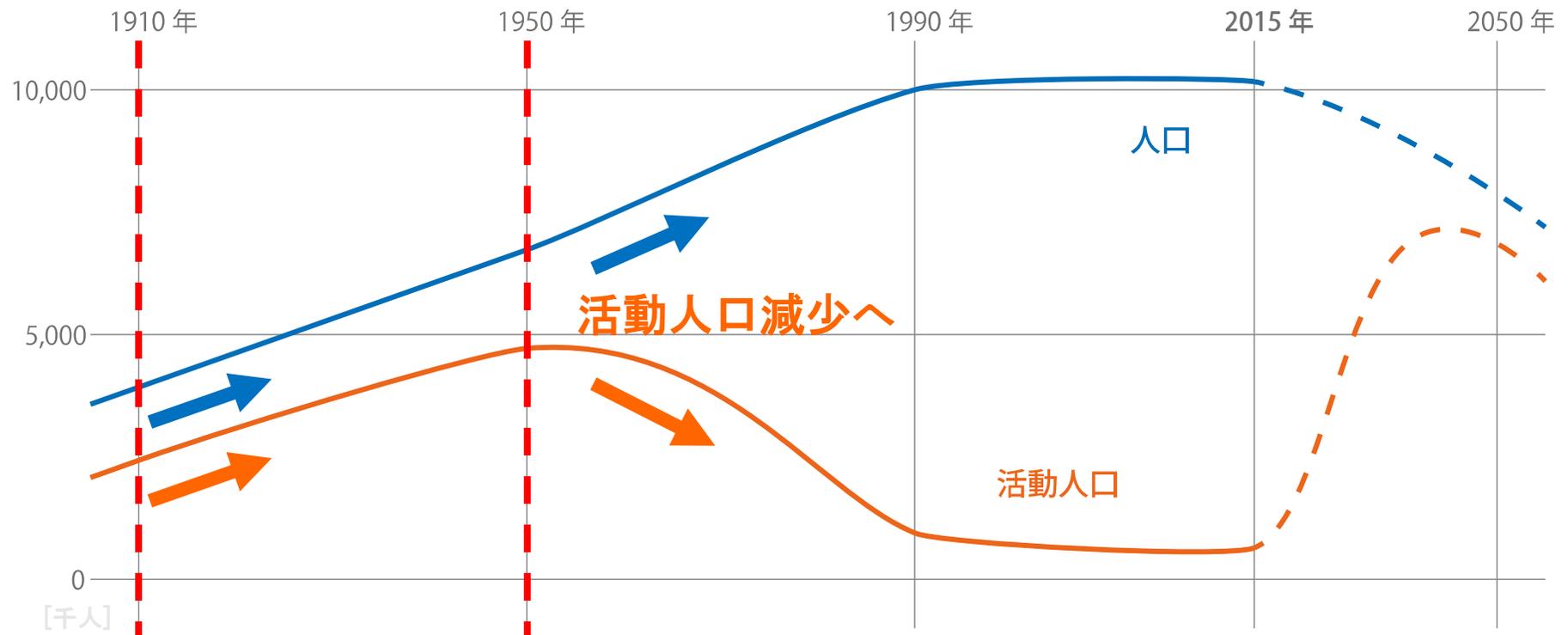
- ・定住人口、交流人口から活動人口へ。

→活動人口比率の高いまち＝健康的、魅力的なまち。

- ・2020年のオリンピックは住民参加を加速させるきっかけになる。それが前回とは違うレガシーになるはず。

→大住民参加時代へ。

定住人口と活動人口の関係



連・講・結・座の時代
住民同士で
助け合った時代

個人主義
産業構造の変化
若者の都市への流出

定住人口が減る
→交流人口を増やそう！
⇒活動人口も増やそう！

◆ファシリテーターを増やす

・2040年に向けて都民参加事業を倍増させていく。興味のあるテーマを見つけて活動する都民を増やす。

→都民の参加を促し、参加した人たち同士をつなげる専門家の活躍も必須。美しさの重要性を理解したファシリテーターの存在。

→コミュニティデザイナー、ファシリテーター、ワークショップデザイナーなど、「つなぎ屋」たちを胡散臭い人たちだと思わないようにすること。

・東京都が優秀なファシリテーターを惹きつけるまちになり、美しい市民活動が増え、人と人のつながりが増え、健康な人が増え、まちが美しく楽しくなること。